

飛騨山脈の水を集めて高山・飛騨へと流れる小八賀川沿いに広がる丹生川の集落。溪流が形作った河岸段丘が、階段状のユニークな地形を生み出し、段丘面には穏やかな田園風景が広がっています。稲作のほか、野菜栽培や畜産も盛んで、高山市内の食卓を支えています。

このコースは、高山市丹生川支所を起点に、もっとも川に近い段丘面の農道、田んぼ道をたどって、荒川家住宅で折り返し、川の兩岸を進みます。ルートはほぼ平坦な舗装路で、田園風景に包まれながら楽しく歩けます。逆回りのコースは疲れた時のバス利用が便利です。

花の香りに誘われて  
乗鞍を望む  
溪流沿いの里地に行く



**1 河岸の農道**

今井橋へ向かう坂を下り、右手に田んぼが見えたら脇道の農道に入る。アスファルト舗装で歩きやすい。



**2 土手のフクジュソウ**

春先、土手一面に黄色いフクジュソウが花をつける。数種が混在しており、4月末まで鑑賞できる。



**4 二里杭**

高山より二里を示す道標。享保年間に建てられた。ここでいったん国道158号を離れ、田の間を進む。

**5 鎮守の森 (丹生川神社御旅所)**

田園の中に木立が現れ、分け入ると小公園がある。日差しを避けながら一休みにちょうどよい。水道もある。



**3 小八賀川と田んぼ**

小高い場所から小八賀川と兩岸の田んぼを見渡し、乗鞍岳も望める絶景。田植え、実りの時期の彩りも楽しい。



**6 石仏群**

丹生川地域は石仏の宝庫。江戸中期から昭和にかけて安置された道祖神や庚申、馬頭観音、地藏などが次々と現れる。



**7 農道**

右に国道158号を見ながら農道を進む。このあたりまでくると、田畑は少なくなり、茂みが濃くなる。

**9 飛騨随一のパワースポット(?) 日輪神社**

荒川家住宅からさらに国道を東へ500mほど進むと見えてくる大きな鳥居が日輪神社。大和朝廷以前の古代文明の遺構とも言われ、パワースポット詣でに訪れる人も多い。苔むす石段や木の間から落ちる木漏れ日は、歩いていて心地よい。



**15 正宗寺**

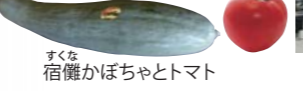
シャクヤクの花寺として知られ、5~6月の開花時は大勢の人で賑わう。飛騨三十三観音霊場の一つ。



**16 乗鞍**

**ファーマーズマーケット**

地元産の朝採れ野菜や果物が並ぶ。丹生川の名産の「トマト」のジュースや宿儺かぼちゃが人気。



**14 田んぼ道**

のどかな田園風景が続く。南岸に渡る橋があるので、疲れたらここから国道へ登り、坊方からバスでゴールへ。



**12 田んぼ道**

芍薬街道から外れて田んぼ道に入ってもいい。川の流れに沿ってカーブしており、歩を進めるごとに景色が変化する。



**13 熊野神社**

合祀され社殿が残るのみだが、芍薬街道から山の中腹の拝殿まで石段が伸び、登ると田園風景がパノラマで見渡せる。

**Study**

**11 芍薬街道**

小八賀川北岸の山裾に延びる道は「芍薬街道」と呼ばれ、5月になると目にも鮮やかなシャクヤクの花が沿道を彩る。これは地域住民が協力して育てているもの。その他にも道沿いにはさまざまな花が植えられ、一年を通して目を楽しませてくれている。



**10 小八賀川**

季節にはイワナ釣り客の姿も見られる小八賀川。このあたりは溪が深い分、寒暖差も大きく紅葉の色づきもよい。

